

〈ナイトハイキングの説明〉

提灯の明かりを頼りに、自然の家の周りを散歩する。昼とはまったく違った夜の敷地内を歩いて「音」「におい」「風の流れ」などを楽しむことができる活動。

1 道具の貸し出し

○各班1セット（提灯1個 ロウソク1本、緊急時用の懐中電灯1本）

代表者にはチャッカマン・予備ロウソク

○貸し受け方法

事務室より道具を受け取る。その際、緊急時の連絡として携帯電話の番号を伝える。

2 活動詳細

ナイトハイキングコースの例です。

① A→B→C→D→E→B→A （40分程度）

② A→F→D→C→B→A （50分程度）

③ A→B→C→D→F→A （50分程度）

※活動前の雨の状況によってはふれあい小道は通行できない場合があります。道の状況や、参加者の体力に応じてコースは設定するようにしてください。

3 ポイント

- ・肝試しとして実施するのは望ましくありません。暗闇を進むというだけで子どもたちは興奮します。それを考慮し、過度な刺激は与えないでください。
- ・分岐点には、引率者が立ち、誘導してください。
- ・提灯は班に1個が原則です。活動する子どもたちの年齢等によって支障がある場合は懐中電灯を使用しても構いません。

4 注意・確認事項

○雷がなったら活動を直ちに終了してください。

○公道に出る場合は車が通るため、歩く際は交通ルールを守り、注意して歩道を歩くよう指導をお願いします。

○途中でケガをしたり、迷ったりした場合の行動を各団体ではっきりさせておいてください。

※緊急時には事務室に連絡をください。病院への連絡と紹介をします。

○引率者は昼間のうちにコースの下見をしておいてください。

○雨上がりの後などは、かなり道が滑りやすくなっているため十分注意して実施してください。

○進入禁止のところには絶対に入ってはいけません。（冒険の森、自然観察園）

○イノシシやハチ・ヘビなど、危険な生物を見かけたら時には、いたずらなど手出しせず、その場から慌てずに離れるよう注意してください。もし、見かけたら自然の家に報告をお願いします。

○活動が終了したらロウソクの火を消してください

5 道具の返却

- 数がそろっているのを確認してから、事務所に返却してください
- ロウソクは提灯からを取り出して、別々にしてください。

6 コース案内

B地点

第5 営火場でキャンプファイアを実施している場合がありますので、左へは進まず右側の階段を進んでください。



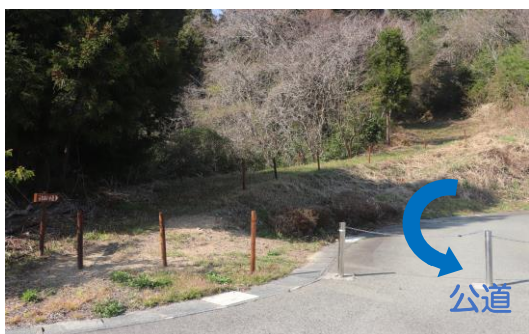
C地点

時計台に向かって右の道をしばらく進むとふれあい小道につながります。左は野営場へ向かう道です。



D地点

ふれあい小道入口です。柵を出て進むと公道に出ます。



E地点

ふれあい小道を出て、右側が本館への道です。左に進むと多目的広場があります。



F地点

いわき海浜自然の家の入口です。
車が通る場合があるので、必ず歩道を歩き、広がらないようにしましょう。



<連絡先>

いわき海浜自然の家

TEL 0246-32-7700